

# 衛生学・公衆衛生学

責任者・コーディネーター	口腔医学講座(予防歯科学分野分野) 岸 光男 教授				
担当講座(分野)	口腔医学講座(予防歯科学分野分野)				
対象学年	2	区分・時間数	後期	講義/演習 24.0時間	実習 6.0時間
期間	後期				

## 学修方針（講義概要等）

講義資料は講義前にWebClassに掲載するので、事前学修に使用すること。  
提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。

## 教育成果（アウトカム）

### 【講義】

疾病の原因、リスクならびに健康要因とその管理方法への包括的理解を得ることで、歯科保健医療分野における地域住民のリスク管理ならびに地域の環境改善に貢献できるようになる。

### 【実習】

衛生・公衆衛生学的指標の測定を実施することにより、環境と健康の関連を理解できるようになる。

（関連するディプロマポリシー：1、4、5、7、8、9）

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

## 講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	11/7 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>公衆衛生総論1</b> 公衆衛生学の概念と役割 を学ぶことで各論的概念 を理解できるようになる。	1. 公衆衛生学を適用する現代社会 の背景を理解できる。 2. 健康と疾病の概念を概説でき る。 3. 第一次、第二次および第三次予 防を説明できる。 4. 国際生活機能分類を概説でき る。 5. プライマリヘルスケアとヘルス プロモーションを説明できる。 [B-1①②、B-3-1-1)①～④]
講義	11/14 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>公衆衛生学総論2 疫学1</b> 疫学の基本概念を学ぶこ とで、集団における疾患 のとらえ方を理解するこ とができる。	1. 健康日本21 (第二次) の目標を 列挙できる。 2. 疫学の概念を概説できる。 3. 疫学指標を列挙できる。 4. 疫学の研究方法と適用を説明で きる。 [B-4-1)①、B-4-2)④]
講義	11/21 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>疫学2</b> リスク指標と標本測定値 の誤差要因等を学ぶこ とで、疫学的根拠への理解 を深めることができる。	1. リスク指標を算出できる。 2. 標本抽出法を列挙できる 3. 誤差と交絡の違いを説明でき る。 4. 因果関係の判定基準を列挙でき る。 [B-4-1)①、B-4-2)①④]
講義	11/28 (火)	1	佐藤俊郎講師 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>口腔疾患の疫学指標</b> 口腔疾患に固有の疫学指 標を学ぶことで歯科疾患 とリスクの分布頻度を把 握できるようになる。	1. 歯科疫学調査の特性を概説でき る。 2. 齲蝕の疫学指標を列挙できる。 3. 歯周疾患の疫学指標を列挙でき る。 4. 口腔清掃度の疫学指標を列挙で きる。 5. その他の歯科疾患 (歯のフッ素 症、不正咬合、など) の疫学指標を 列挙できる。 [B-4-1)③]
講義	12/5 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>EBM、統計解析法1</b> EBMの概念と基礎的な医 療統計を学ぶことで歯科 診におけるEBMが実践で きるようになる。	1. EBMの5つのステップを列挙でき る。  2. 診療ガイドライン説明できる。 3. 変数の種類を列挙できる。 4. 変数の種類に応じた統計的検定
講義	12/5 (火)	2	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>統計解析法2</b> 基礎的な医療統計を学ぶ ことで歯科診における EBMが実践できるようにな る。	1. 正規分布を説明できる。 2. 統計学的分析法 (t 検定、F 検 定、 $\chi^2$ 検定、相関係数、順位相関 係数) を説明できる。 3. 統計学的分析法 (t 検定、F 検 定、 $\chi^2$ 検定、相関係数、順位相関 係数) を説明できる。 [A-8-1)-②、B-4-1)①④、B-4-2) ④]

講義	12/12 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>スクリーニング</b>  スクリーニングについて 学ぶことで集団の健康管 理法について理解でき る。	1. スクリーニングの意義を説明で きる。 2. スクリーニングの有効性の指標 を算出できる。 [B-4-1)②]
講義	12/12 (火)	2	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>人口統計</b>  人口指標を学ぶことで、 超高齢社会の問題点を把 握できるようになる。	1. 我が国の人口の問題を概説でき る。 2. 人口静態の指標を列挙できる。 3. 人口動態の指標を列挙できる。 4. 人口指標の数値の推移を概説で きる。 [B-4-2)①③④]
講義	12/13 (水)	1	大石泰子助教 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>環境と健康1 (地球環境 保全、公害、温熱環境、 大気物質)</b>  地球環境問題について学 ぶことで環境が健康にも たらす影響を理解でき る。	1. 主な地球環境問題を列挙でき る。 2. 主な世界環境保全のための条約 を列挙できる。 3. 地球温暖化の原因と影響を説明 できる。 4. 日本の代表的公害事例を列挙で きる。 5. 環境基本法を概説できる。 6. 空気の正常・異常成分を列挙で きる。 7. 大気汚染物質による健康影響を 説明できる。 [B-2-4)①②]
講義	12/13 (水)	2	大石泰子助教 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>環境と健康2 (水質・騒 音・廃棄物)</b>  衛生学的環境指標を学ぶ ことで環境が健康にもた らす影響への理解が深ま る。	1. 生活用水の取水から排水までの 経路を概説できる。 2. 浄水法を説明できる。 3. 上水道の水質基準を列挙でき る。 4. 汚水処理法を説明できる。 5. 水質汚濁による健康影響を説明 できる。 6. 騒音・振動の健康影響を説明で きる。 7. 廃棄物処理を概説できる。 [B-2-4)①②]
講義	12/19 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>疫学・保健医療統計演習</b>  具体的データを用いて保 健医療統計の演習をす ることで統計学的応用力が 身につく。	1. 主な疫学指標 (相対危険、寄与 危険、オッズ比) を算出できる 2. 主なスクリーニングの指標 (敏 感度、特異度、陽性適中度、陰性適 中度、尤度比) を算出できる 3. 主な人口統計指標 (平均寿命、平 均余命、新生児・乳幼児死亡率) を 算出できる。 4. 主な統計指標 (平均値、中央 値、最頻値、四分位、分散) を算出 できる。 5. データに適した統計解析法を選 択できる。 [B-4-2)①②③④]

講義	1/9 (火)	1	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>感染症の予防</b> 感染症について学ぶこと で歯科医療における感染 対策の意義を理解でき る。	1. 感染症の成立要素を列挙でき る。 2. 感染症成立要素に応じた対策を 概説できる。 3. 感染症法に基づく感染症列挙で きる。 [B-3-1)①②④]
講義	1/9 (火)	2	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>非感染症の予防</b> 非感染症について学ぶこと で超高齢社会で重点的 に対応すべき疾患と口腔 との関わりが理解でき る。	1. 非感染症の要因と成り立ちにつ いて説明できる。 2. 主な非感染症を列挙できる。 3. 非感染症の原因と予防について 説明できる。 [A-6-1)⑥、A-6-3)①-③、B-3-1) ①②④]
講義	1/16 (火)	1	相澤文恵教授 (人間科学科心理 学・行動科学分野)	<b>健康と食生活 I</b> 栄養と健康について学ぶ ことで口腔保健における 栄養指導の重要性が理解 できる。	1. 健康と栄養との関係を概説でき る。 2. 国民栄養の現状について説明で きる。 3. 日本人の食事摂取基準について 説明できる。 [B-1②③]
講義	1/16 (火)	2	相澤文恵教授 (人間科学科心理 学・行動科学分野)	<b>健康と食生活 II</b> 栄養と健康について学ぶ ことで口腔保健における 栄養指導の重要性が理解 できる。	1. 食中毒の原因を列挙できる。 2. 保健機能食品を説明できる。 3. 食品の安全性について説明でき る。 4. 食育基本法を概説できる。 [B-1②③、B-3-2)⑦⑧]
講義	1/19 (金)	2	岸 光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>国が行う保健統計調査</b> 国が行う保健医療統計調 査を学ぶことで、現代日 本の健康問題を理解でき るようになる。	1. 基幹統計を列挙できる。 2. 一般統計を列挙できる。 3. 重要な保健医療統計を概説でき る。 [B-4-2)②③④]

## 実習日程表

M a n c	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
実習	1/9 (火)  1/16 (火)	3 4  3 4	岸 光男教授 佐藤俊郎講師 大石泰子助教 杉山由紀子助教 佐藤華子助教 (口腔医学講座 予防 歯科学分野分野)	<b>環境衛生実習</b> 環境測定を実施すること で環境衛生についての理 解が深まる。	1. 水質検査を行うことができる。 2. 感覚温度を求めることができる。 3. 空気の成分を測定することができ る。 4. 測定値から生活環境を評価するこ とができる。 [B-2-4)①②]

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	新編 衛生学・公衆衛生学 第1版	安井利一、嶋崎義浩、岸 光男、他 編	医歯薬出版	2021
教	口腔保健・予防歯科学 第2版	山下喜久ほか 編	医歯薬出版	2023
参	スタンダード衛生・公衆衛生 17版	安井利一、神原正樹、荒川 浩久 編	学建書院	2021
参	国民衛生の動向 2022/2023(「厚生 の指標」臨時増刊号)	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2022

## 成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験 90%  
平常点 (ポストテスト、実習レポート) 10% で評価する。

## 特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等)

講義資料は講義前にWebClassに掲載するので、事前学修に使用すること。  
提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
複写機 MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ノートパソコン LetsnoteB3ノート CF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式 ThinkPadT43P266 8-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター i p 40 B	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook MC240J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作製用
ノートパソコン・ Let's note 一式	1	視聴覚用機器	講義用
デスクトップパソコン dynabook 一式	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター EB-1771WC3	1	視聴覚用機器	症例提示用
カラーレーザープリンター・一式 LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式 PC-MK33MLZE14SM 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
A3対応カラープリンター・一式 LBP9100C	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の資料印刷用

デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン	Endeavor AT994E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン ー式	MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
ノートパソコン Dell Latitude-9410	NBLA096-401N3	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成 講義・プレゼンテーション用
バイオ冷蔵庫	ALS-657HC	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の保存